あたたかい

3 まなざしで

子育て支援センター
あ　い　り　ん
0833（41）0735
2025．3．1　299号

４月から保育園や幼稚園へ入園されるお友だちは残り１ヶ月となりました。新生活に向けて早起きしたり、お昼寝の時間を早めたりしながら少しずつ生活リズム作りを頑張っているお友だちがいます。始めはなかなかリズムがつかめず、ぐずることもありましたが、お母さんが根気よく頑張って進めていくうちに体内リズムができて、お昼寝の後も機嫌よく過ごせるようになったそうですよ。子どものことを考えて一生懸命取り組むお母さんの姿勢がとても嬉しく思いました。生活リズムが整うと、子どもの体も元気で笑顔も増えます。ゆっくり関われる時間を大切に子育てしていきましょう。

月	火	水	木	金	土
3月の予定					1 愛隣幼児学園（園庭開放）
3 愛隣幼児学園	4 愛隣幼児学園 0～1歳半＆妊婦さん	5	6 愛隣幼児学園	7 中村総合福祉センター	8 愛隣幼児学園（園庭開放）
10 愛隣幼児学園	11 愛隣幼児学園 0～1歳半＆妊婦さん	12	13 愛隣幼児学園 誕生日会	14 中村総合福祉センター	15 愛隣幼児学園（園庭開放）
17 愛隣幼児学園 保健師さんの育児相談	18 愛隣幼児学園 0～1歳半＆妊婦さん	19	20 春分の日	21 中村総合福祉センター	22 愛隣幼児学園（園庭開放）
24 愛隣幼児学園 お別れ会	25 愛隣幼児学園 0～1歳半＆妊婦さん	2	27 お休み（園行事のため）	28 お休み	29 お休み
31お休み					

月・木　・・愛隣幼児学園　９：００～１４：００
火　・・・愛隣幼児学園（０～１歳半＆妊婦さん）９：００～１４：００
金　・・・中村総合福祉センター　９：００～１４：００
土　・・・愛隣幼児学園（園庭開放）　８：３０～１３：３０
※なお、子育て相談サロンは愛隣幼児学園で、園庭開放、絵本貸出し、育児相談など随時行っています。

♡**１３日(木)誕生日会**
３月生まれの友だちの誕生日会をします。誕生日の人は１１日(火)までに誕生日用紙にご記入下さい。
写真を１枚ご用意下さい。
なお、当日の受付は準備の都合上できませんので、ご了承下さい。

♡**２４日(月)お別れ会　要予約 25 名**
時間 10:00～11:15
４月から保育園や幼稚園に入園するお友だちのお別れ会をします。たくさんの思い出を作りましょう。

♡**１７日(月)　保健師さんの育児相談**
時間 10:00～11:00
身長・体重測定、相談ができます。
母子手帳を持参して下さい。

4月の予定
４日(金)スタート
１８日(金)こいのぼり作り
２１日(月)保健師さん
２４日(木)誕生日会

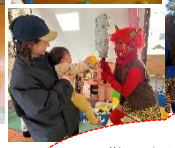
お願い
★子どもさんから目を離さず、保護者の責任の下でお願いします。
★公共の物を大事に使いましょう。
★駐車場は前向き駐車でお願いします。
★環境のため、アイドリングを止めましょう。
★駐車場では特に子どもさんにご注意お願いします。事故のないようみんなで気をつけましょう。

♡毎週水曜日は平田保育園(姉妹園)で子育て支援センターくだまつが開所しています。ぜひご利用下さい。

おすすめ絵本　**おはなをどうぞ**　作・絵　三浦　太郎　のら書店
女の子はお母さんにあげるために摘んだお花を、出会う動物さんにあげてしまいます。心優しい女の子と動物さんとのやり取りが可愛らしく、お母さんの優しさも感じられる絵本です。

先月の様子

節分の会　1/31(金)



鬼をやっつけるおもちゃを紙コップで作りました。新聞紙を丸めてボールにして、作った鬼を狙い撃ち！最後はカラーボールで大きな鬼もやっつけましたよ。

プレイルームにも赤鬼と青鬼がやって来た！

おひな様作り　2/14(金)

折り紙を折っておひな様作りをしました。のりの使い方も上手にできるようになりました。

買い物ごっこ　2/21(金)

廃材を使ったおもちゃがいっぱい。どれにしようかなぁと迷いながら自分で選んで買い物を楽しみましたよ。

子どものことを受け入れれば、子どももまた大人を受け入れます

参考文献　初女さんが子育てに伝えたいすべてのこと　佐藤初女

「子育てで、大切なことは何ですか」と聞かれれば、私は迷わず「受け入れることです」とお答えします。子どもだからというのではく、子どもを一人の人格として受け入れ、こちらから話を聞くと、子どももまた大人のことを受け入れます。受け入れないと、全てに反発します。子どものすべてを受け入れることが、心穏やかに子育てをする一番の秘訣です。あるときおばあちゃんが孫に絵本を読んでいるときに、子どもが「発音がちがうよ～」と言うと、おばあちゃんは「知ってるけど～」と言い返しました。孫がしたことに対して「ありがとう、直すね」と言えばいいのに、「知ってるけど～」と言うと、子どももがっかりしますよね。大人が感謝で受け入れないと、子どもも素直になりません。とにかく、こちらが先に受け入れると、子どもは受け入れられたと感じて信頼に変わっていくのです。もちろん悪いことははっきりと、受け入れられないなら受け入れられない理由を伝えれば、子どもは素直に聞きます。子どもを受け入れないで、子どもに要求するのはいけません。それから、子どもは１回言えばわかります。大人がくどくど言うと、子どもは嫌になってしまいます。

「あたたかいまなざしで」は、愛隣幼児学園のホームページでもご覧になれます。ご活用くださいね。